

## 書くこと（生活文）能力分析表

		育成すべき能力	1・2 年	3・4 年	5・6 年
相手・目的・ 発想・認識		書いて伝えたい相手や目的を考える。	○	○	○
		経験したことの中から書く題材を限定する。	○	○	○
		書こうとする事柄を決める。	○	○	
		伝えたいことの内容を考える。	○	○	○
		主題を決める。			○
取材・選材		経験したことや思ったことを順番に思い起こす。	○	○	○
		5W1Hを意識して書く。	○		
		五感を使った取材をする。	○	○	○
		書くために必要な材料を集める。	○	○	
		書くための材料を集め整理する。			○
		書く必要があるかどうかや軽重を考える。		○	○
構成		どの場面からどの場面まで書くかを決める。	○	○	○
		行動や時間の移り変わりの順序に気をつけて書く。	○		
		文章の組み立てを考えて書く。		○	○
		事柄のまとまりや区切りを考える。		○	○
		効果的な文章構成や段絡構成を考える			○
		構成メモをもとに詳しく表現する。		○	○
記述		語と語や文と文の続き方に注意して書く。	○		
		内容の中心が分かる書き方をする。		○	
		主題が明確な文章を書く。			○
		段落ごとに区切って書く。		○	
		段落と段落の続き方に注意して書く。		○	
		段落相互の関係を考えて書く。			○
		文のつながりを考え指示語や接続語を適切に使う。		○	○
		当該学年の前の学年までに配当されている漢字を適切に使う。	○	○	○
		書こうとするものをよく観察して客観的に書く。		○	
		会話を取り入れたり様子がよく分かる語句の使い方をする		○	○
		主語・述語のはっきりした文を書く。	○		
		修飾する言葉を使って文を書く。		○	○
		文章の敬体と常体を使い分けて書く。		○	○
		事象と感想、意見などを区別して書く。			○
		目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。			○
	推敲・評価 批評		句読点を適切に使う。		○
		内容に合った題をつける。		○	○
		自分や友達の文章の良いところに気付く。	○	○	○
		文章を読み返し字の間違いを直す。	○		
		文章を読み返して間違いを正したりより良い表現に書き改めたりする。		○	
	文章を読み返してより良い叙述の表現の仕方を工夫する。			○	
	表現の効果などについて確かめる。			○	